

令和元年度 第2回（第53回）日本産業精神保健学会研修セミナー

「両立支援の推進による職場活性化と人財育成に向けて ～人事労務と産業保健スタッフが共に考える～」

現在、我が国では「働き方改革」「障がい者雇用促進」などの法制化や、「治療と仕事の両立支援」「健康経営」などの啓発が行われており、国をあげて多様な人財が健康に生き生き働ける職場づくりへの取り組みが始まっています。この実現に向けて学際的な連携が今後益々重要になると考え、今回は弁護士の先生をお招きし、治療・障がいと仕事との両立支援をいかに推進し職場活性化や人財育成・確保に繋げることができるかを、産業医・産業看護職・心理職などの産業保健スタッフ、および、経営者、人事労務担当者、社会保険労務士などの多職種が共に考える研修セミナーを企画しました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1. 主 催 日本産業精神保健学会教育・研修委員会，産業看護職部会，心理職部会

2. 研修会名称 第53回日本産業精神保健学会研修セミナー

3. 開催年月日 令和2年3月14日（土）午後2時より午後5時まで

4. 開催場所

東京医療保健大学五反田キャンパス 3階 G304 教室

（〒141-8648 東京都品川区東五反田 4-1-17）<http://www.thcu.ac.jp/access.html>

（JR 山手線、東急池上線、都営浅草線 五反田駅下車，徒歩約8分）

5. 研修内容

司会・進行 高木智子（株式会社アルビオン人事部，産業看護職部会）

開会挨拶 角田 透（杏林大学名誉教授，了徳寺大学，教育・研修委員長）

座長 錦戸典子（東海大学医学部看護学科教授，産業看護職部会長）

松浦真澄（東京理科大学工学部准教授，心理職部会）

第一部 教育講演1（70分）

「発達障がい者・がん罹患者の就労支援は全ての社員を自立・成長させる
～予防法務型経営側労働弁護士の立場から～」

弁護士 小島健一 先生（鳥飼総合法律事務所）

第二部 教育講演 2 (50 分)

「両立支援の普及に向けて

～労働衛生機関 産業保健スタッフの立場から～」

産業医 森口次郎 先生 (京都工場保健会理事)

第三部 ディスカッション (50 分)

閉会挨拶 三木明子 (関西医科大学看護学部教授, 産業看護職副部会長)

6. 受講定員

80 名予定

7. 参加費

日本産業精神保健学会員 無料

非会員 3,000 円 (当日支払)

8. 申込方法 (令和 2 年 2 月 28 日まで)

FAX にて「①住所, ②氏名, ③所属, ④連絡先電話番号・メールアドレス, および
⑤日本産業精神保健学会の会員または非会員の別」を明記してお申込下さい.

9. 研修申込先・問合せ先

〒181-8611

東京都三鷹市新川 6-20-2

杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室 研修セミナー事務局

FAX : 0422-44-0841 (問合せは 0422-47-5512 内線 3460)

10. その他

日本産業精神保健学会専門職制度の規定単位 (10 単位)

日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度の専門研修 (2 単位) 申請中.

※単位についてのお問合せは, 研修当日, 産業看護職部会の担当者にご確認下さい.